



県政報告

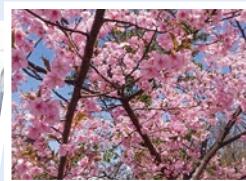
Vol.25

2024.3月発行



愛知県議会議員 神谷まさひろ

「日記で綴る県政報告Vol. 25」をお届けします。今回は昨年の12月議会から今年の2月議会までの間、様々な行事への出席など議員としての活動の一端を紹介しています。ぜひともご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



12.26 火

県議会の委員会では所管事項に関する県内の調査が行われます

今

日は県民環境委員会の県内調査です。午前中は岩倉市にある石塚硝子(株)さんに伺いました。

卵の加工工場で廃棄される卵殻を、天然資源である石灰石の代替として有効利用する業界初のビジネスモデルを構築され、サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルに資する優れた取り組みとして2023年の愛知環境賞を受賞された企業です。会議室で説明を受けた後、1500度の溶解炉やビンの製造ラインを見学しました。

そして午後からは東海市の大同特殊鋼(株)さんの知多工場に伺いました。

令和4年度あいち生物多様性企業認証制度の認証企業として、敷地内の緑地への新たなビオトープの創出や、知多半島生態系ネットワーク協議会の会員として、各企業が管理する緑地をひとつの大きな緑地帯と捉え、生物多様性の保全を推進するなど、多様な取り組みをされておられました。先ず始めに「知多半島北部の企業群生態系ネットワーク形成活動」について説明を伺った後、ビオトープやグリーンベルトの現地調査を行いました。



12.30 土

消防団の皆さん、年末夜警お疲れ様です

夜

、消防団年末夜警の激励に分団詰所を訪問しました。

毎年、2日間掛けて訪問するのですが、昨日ちょっとしたトラブルがあり訪問することが出来なかったため、今日は頑張って21分団全てを訪問しました。団員が整列して下さり、私から挨拶をさせて頂くことが出来た分団もいくつかありました。

全国操法大会において2位に輝いた女性消防隊の活躍に触れ「消防団活動は市民の安全・安心を守る目的の他

に、宝物のような貴重な経験や深い絆の友情を得ることが出来るといった、皆さんの人生にとってもプラスになる活動です」という挨拶をさせて頂きました。

消防団員の皆様のご活躍に心から敬意を表します。



1.7 日

若者に「諦めることなく挑戦して欲しい」のメッセージ

総

合文化センター大ホールにおいて『2024かりや二十歳の集い』が開催されました。刈谷市内の対象者は1732名。刈谷市内にある6つの中

学校を3中学校づつに分けて、午後1時からと午後3時からの2度行われました。私はそのどちらにも開会の前から会場の前に立って、参加者へ「おめでとう」の挨拶活動を

行った後、式典には来賓として登壇しました。



今年のテーマは「**集まれ虹色の意志★広がれ虹色の未来**」です。コロナ禍が明けたことを、雨上がりの空に例えて、皆さんの未来に虹がかかるように願いを込めたテーマになっています。

市長・議長の挨拶、恩師によるビデオレター、いずれにも「これからの人生には辛く苦しいこともあると思うけれど、諦めることなく挑戦していった欲しい」といったメッセージが込められていたように思えました。私自身二十歳からの43年間の経験を振り返って、このメッセージと全く同じ気持ちです。今日のテーマの虹に因んで「**No Rain No Rainbow**」の言葉を送ります。

1.10 水 助成額の加算=委員会での要望が実現しました

「神」

谷さ～ん、日本語学習支援基金を使った助成事業について、昨今の物価高の影響を考慮し、来年度事業から助成額を加算することを決定しました」との連絡が担当課から入りました。

■日本語教室の運営費を月額2,000円、会場費実費を月額5,000円増額する。

■地域交流支援にかかる事業も新たに助成対象とする。
(上限15,000円/年)

とするものです。この増額については、昨年9月定例会の県民環境委員会で質問・要望していた事柄ですから、実現して大変嬉しいです。

1.15 月 広域防災拠点 中部圏では初の整備です

私

たち無所属議員を対象とした[令和6年度当初予算重点要求事業]と[主要プロジェクトの進捗状況等]の説明会に出席しました。政策企画局・県民文化局・防災安全局・福祉局・環境局・経済産業局・企業庁・建設局・県警本部・教育委員会など全ての部局の説明で内容が多岐に渡っていますが、この日記では県が整備を進める『基幹的広域防災拠点』について紹介します…

県営名古屋空港、名古屋高速に接する豊山町(約19ha)に整備されるもので、大規模災害に備える備蓄機能、全国からの支援部隊・支援物資を受け入れて必要箇所に届

ける後方支援機能、自衛隊・消防・警察のキャンプ地、本部要員・DMATの宿泊室、広域搬送医療施設(SCU)などを備えています。

平時には、老朽化した県と名古屋市の消防学校を最新訓練設備を備えた合同の施設として移転整備し、他には地域の公園、グラウンドとして開放されます。こうした『基幹的広域防災拠点』は、首都圏に2か所、関西圏に1か所ありますが、中部圏では初の整備となります。

能登半島での地震により、こうした広域防災拠点の必要性は益々認識されているところです。

1.17 水 イノベーションは出会い交流することで生み出されます

刈

谷商工会議所などが主催して行われた『刈谷モノづくり大学大学院MBAイノベーションセミナー・賀詞交歓会』に出席しました。

セミナーの講師は脳科学者の中野信子氏、「ビジネスに活かす脳科学」というテーマで日本人の思考や行動を実験によるデータを基に判り易く話して頂きました。

賀詞交歓会では挨拶の機会がありましたので、今年10月にオープンするスタートアップの支援拠点STATION Aiについて紹介した後、「イノベーションは多様な主体が

出会い交流することで生み出されます。この会も様々な業種・年齢・性別・国籍の方が集まっています。今日の出会ってからイノベーションを起こすきっかけにして下さい。但し、中野先生が講演で言われたように、一部の企業だけがうまみを得ると他の人から嫌われますから、皆で恩恵を得ましょう(笑)」といった主旨の挨拶をさせて頂きました。



1.28 日 ▶ パラリンピックの開催はまち全体のバリアフリー化のチャンスです

愛

知県重度障害者団体連絡協議会主催によるシンポジウム『誰もが楽しめるアジア・アジアパラ競技大会をめざして』に参加しました。

基調講演は車いすフェンシングで東京パラリンピックに出場した恩田竜二氏です。

——私のメモ書きから——

- 選手村がないのは残念。ハード面が無理ならソフト面＝マンパワーで補おう
- 障害者も「助けて貰って当たり前」ではなく感謝の気持ちを
- 障害者になったからといって不幸ではない
- 健常の時には夢にも思わなかったパラリンピックに出



場出来た

- パラリンピックが身近なところで開催されることはラッキー
- 障害者スポーツはマイナーなので見て貰うことが大事（スタッフでも観客でも）

第2部はファシリテーターに中京大学の伊藤葉子先生を迎えてパネルディスカッションです。

——私のメモ書きから——

- ウェーブスタジアムなどの競技施設、バリアフリー改修の過程でどれだけ当事者の声を反映できるかが大切
- 改修が難しい部分は別の方法で改善できないか⇒当事者との対話・マンパワー
- パラリンピックの開催はまち全体のバリアフリー化のチャンス
- 文化活動やスポーツを健常者と障害者が一緒に楽しむ
- 障害者が楽しいこと（例えばカリアンナイト・大名行列）に参加しながら共生社会の実現
- 障害者にとって暮らしやすい社会はだれにとっても暮らしやすい社会

2.2 金 ▶ 国際芸術祭＝以前のトリエンナーレのことです

国

際芸術祭「あいち2025」に向けて、芸術監督を務めるフル・アル・カシミ氏の企画概要説明と意見交換がありました。

「あいち」の国際芸術祭は2010年から3年ごとに開催されており、今回で6回目を迎えます。国内最大規模の芸術祭の一つであり、国内外から多数のアーティストが参加します。今回のテーマは「A Time Between Ashes and R

oses 灰と薔薇のあいまに」です。

会期は2025年9月13日～11月30日。主な会場は愛知芸術文化センター、愛知県陶磁美術館、瀬戸市のまちなかにおいて開催されます。



2.4 金 ▶ 生産年齢人口の減少によって起こる問題点について意見交換しました

今

日は立春。その暦通り比較的温かな1日でした。

市民要望を届けに何組かの方が来所されました。その中の一人Aさんは、今後生産年齢人口の減少により起こるであろう公務員の不足に対して警鐘を鳴らしておられました。

実際、47都道府県が2023年度に実施した職員採用試験で、採用予定数を満たす合格者を全ての職種区分で確保出来たのは大阪府と兵庫県だけで、45都道府県で「採用予定数割れ」が生じていたとのこと。特に、土木などの技術・専門職で目立って来ており、採用難は近年急速に悪化しており、インフラ整備や災害対応などに大きな影響

を及ぼす可能性があるようです。

また、今年4月で改正労働基準法の適用猶予期間が満了することにより、医師並びに建設及び運送等に携わる方は、従来のような長時間労働が出来なくなり、労働市場において供給不足感（人出不足感）が共有されれば、人手不足に拍車がかかるのではないかと危惧されておられました。

愛知県職員に対する働き方改革を謳っている『あいち行革プラン2020』が2024年度で期間満了を迎えます。次期のプラン作成に向けて、この課題をしっかりと議論して行きたいと思います。

2.6 県立高校の体育館に空調設備を整備します

私

たち無所属議員を対象とした[連絡会]が行われました。主な内容としては2月定例愛知県議会の議案の説明です。

今回上程される2024年度の当初予算の中に「県立高等学校の体育館等への空調設備の整備」という予算がありました。2024年度から2027年度までの4年間で、全ての県立高校の体育館・武道場に空調設備を順次整備することです。2024年度の予算として44億7391万余円、4年間では約180億円の事業です。



2019年の選挙ハガキです

私は5年前の県議会議員選挙での公約の1つとして「避難所・学校体育館にエアコン設置」を掲げていました(写真:選挙時に8,000枚郵送することが出来るハガキです・写真が若い笑))ので、今回の予算計上はとても嬉しいことです。

今回の設置目的は「近年の猛暑を踏まえた、熱中症対策を進めるため」とされていますが、当

然、大きな災害の時に避難所となる学校体育館には冬場の暖房も必須です。一方、災害の際にはエアコンへの電源の心配もあります。その点は、既に今年度中に全ての小中学校でエアコン設置を終える刈谷市の例を見習ってはどうかと提案するつもりです。

刈谷市の例

- ◎たとえば1つの体育館に空調機4台設置の場合3台は都市ガスで、1台はLPガスにより稼働
- ◎平時はこの状況で運転
- ◎LPガスはバルクタンクが設置され、ドコモのセンサーで残量が自動的に業者に連絡⇒補充されるしくみ
- ◎地震で都市ガスが止まると、都市ガスに接続していた空調機も全てLPガスに切り替わる
- ◎LPガス空調機は電源自立型
- ◎都市ガス復旧までの間、LPガスにより空調はずっと稼働

こうして、地震が発生しても空調は稼働している状態を保つことが出来るのです。

その他、令和6年度予算としては、一般会計・特別会計・企業会計合わせて4兆3427万余円が計上され、2月19日(月)より開会の予定です。

2.19 2月定例愛知県議会の開会です

今

日から3月25日(月)まで36日間の会期で2月定例愛知県議会が始まりました。

定例会では冒頭に知事による議案の提案理由説明があるのですが、新年度の予算を始め全部で92件もの議案があるためその説明も膨大で、文字にするとA4で45ページ、1時間以上演説をされました。

そして、演説の最後には「結びとして一言申し上げたいと存じます」として次のように述べられました…

これからも本県は、東京一極集中にストップをかけ、イノベーションを創出する好循環を生み出す日本の成長エンジンとして、将来にわたって我が国の発展を力強くリードし続けてまいります。

「ジブリパークのある愛知」の魅力を国内外に向けて発信するとともに、「STATION Ai」を始めとした日本の未来をつくるビッグプロジェクトを着実に推進し、空高く舞い上

がる龍のごとく、勢い盛んに愛知を成長・発展させ、大きく躍進させていく。こうした思いを2024年度当初予算に込め、「龍躍愛知」予算として編成させていただきました。

引き続き、「日本一元気な愛知」、子ども・若者・女性・高齢者・障害のある方など「すべての人が輝く愛知」、県民の皆様すべてが豊かさを実感できる「日本一住みやすい愛知」、そして、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」を実現するため、全力で取り組んでまいり所存であります。

尚、2月定例会の詳細につきましては、次回『日記で綴る県政報告Vol.26』においてお伝えいたします…

